

1.1 「経過観察」についての検討素案

1 自己点検の実施

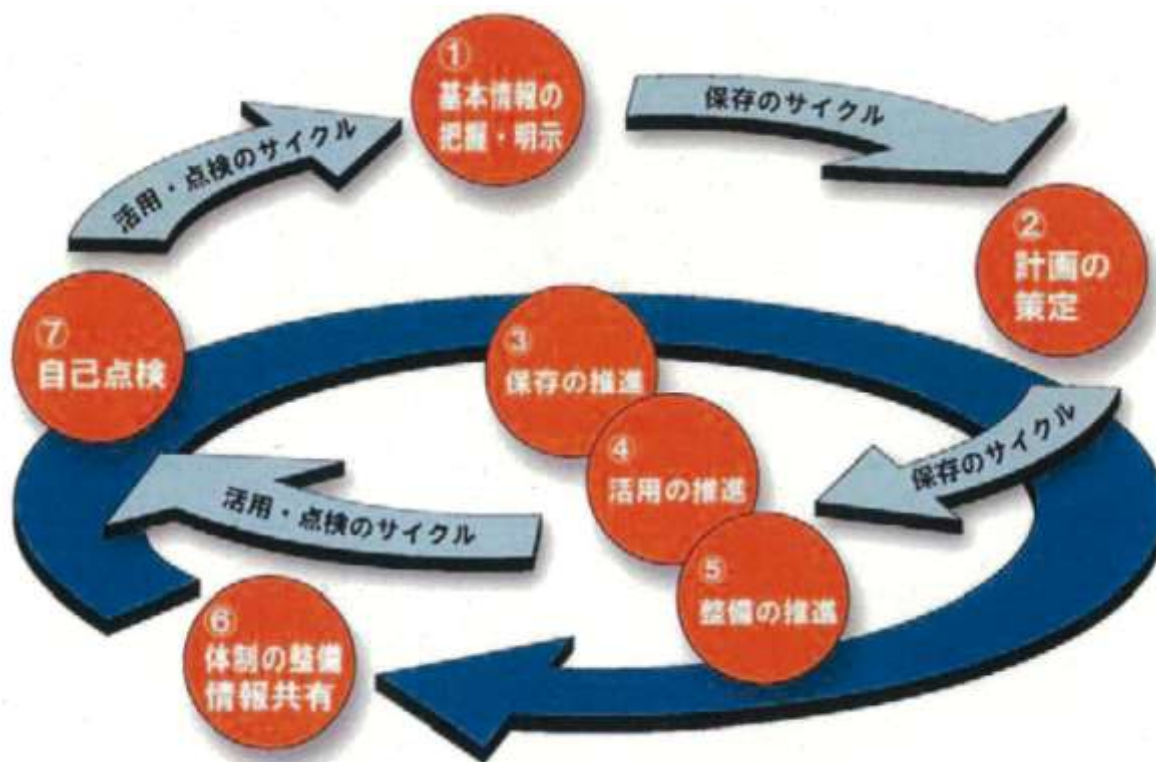
保存活用計画において計画されたことがどこまで実現しているのか、今後何をすべきなのか等を確認するための自己点検を行う。その際には、別添の自己点検表を参考にした点検表を用いて、事業の実施状況についての検証を行う。

自己点検は2年ごとに行い、点検における課題については、有識者等による委員会において助言指導を得るようにする。

2 計画の見直し

本計画はおおむね20年程度の計画期間としているが、自己点検の評価や周辺環境の変化等に応じて必要な部分の見直しを行う。

10年程度が経過した段階で、見直しの必要性について検討する。



「史跡等・重要文化的景観のマネジメントの循環過程（サイクル）」
文化庁『史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書』より引用

史跡等の自己点検表（案）

史跡等の名称					
管理団体、所有者名					
項目	実施例	取組状況			
		未取組	計画中 である	取組済	備考 (現状、目的、成果等を記入)
(1) 基本情報に関する こと	ア) 標識は適正に設置されているか	1	2	3	
	イ) 境界標の設置、現地での範囲の把握はできているか	1	2	3	
	ウ) 説明板は設置されているか	1	2	3	
(2) 計画策定等に関する こと	ア) 保存活用計画は策定されているか	1	2	3	
	イ) 保存活用計画に基づいて実施されているか	1	2	3	
	ウ) 保存活用計画書の見直しは実施されているか	1	2	3	
(3) 保存に関する こと	ア) 指定、選定時における本質的価値について十分把握できているか	1	2	3	
	イ) 調査等により史跡等の価値等の再確認はできているか	1	2	3	
	ウ) 専門技術者の参加、連携は図られているか	1	2	3	
	エ) 史跡等の劣化状況や保存環境に係る調査はされているか	1	2	3	
	オ) 災害対策は十分されているか	1	2	3	
	カ) 保存活用計画に基づいて実施されているか	1	2	3	
(4) 管理に関する こと	ア) 日常的な管理はされているか	1	2	3	
	イ) 特別な技術等が必要な部分の管理はされているか	1	2	3	
	ウ) 史跡等周辺の環境保全のために、地域住民や関係機関との連携が図られているか	1	2	3	
	エ) 条例、規則、指針等、環境保全の措置を定め、実行しているか	1	2	3	
	オ) 保存活用計画に基づいて実施されているか	1	2	3	
(5) 公開、活用に関する こと	ア) 公開が適切に行われているか	1	2	3	
	イ) 史跡等の本質的価値を学び理解する場となっているか	1	2	3	
	ウ) 市民の文化的活動の場となっているか	1	2	3	
	エ) まちづくりと地域のアイデンティティの創出がされているか	1	2	3	

文化庁『史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書』より引用